



<http://www.namiki-masatoshi.com/>

討議資料

なみき

並木まさとし

53号



ナイスショット通信 第53号

48歳

発行者 埼玉県議会議員 並木正年 〒365-0038 鴻巣市本町3-2-19-B

TEL 048-541-7777

FAX 048-543-8000

namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp

12月定例会 一般質問に登壇

- ①賢く・省く事業の重点化と財政健全性の堅持 ②シビックプライドの醸成 ③アルコール依存症対策
④県産加工品、製造品の普及と販売の拡大 ⑤気候変動適応法への対応 ⑥住宅セーフティネット
制度を早急に進めるべき ⑦警察官の安全対策を強化すべき 以上7項目を質問しました。



今任期中、最後となる一般質問をおこないました。

一般質問とは、施策の方向性や現状、問題点を知事や執行部に問う事です。

また、市民からの相談や意見を質問内容として取り上げ、新しい施策を展開してもらうための提案をおこなうなど、30分間の発言時間が与えられています。

市議会では各定例会(4回/年)ごとに議員は制限なく質問に立てますが、県議会においては会派の所属人数によって質問できる人員が割り当てられているため、約1年に1回の貴重な機会となっています。

今回の一般質問では、身近な県政課題について7項目を取り上げました。

シビックプライドの醸成

「シビックプライド」とは19世紀に英国で生まれた言葉で、自分の住む街に誇りと愛着を持ち、地域課題の解決や地域を発展させるために「具体的な行動に取り組む姿勢」や「地域への参画」を意味しています。

県政世論調査では69%の県民が「住み慣れていて愛着がある」との理由で「今住んでいる地域に住み続けたい」と回答しています。

愛着の思いを実際の行動へと移行してもらうことから地域力を高め、街づくりの原動力に繋がりますので、シビックプライドを持つ方が中心となって多くの県民の力を活かす取り組みが必要だと考えます。

アルコール依存症対策

国内には保健所への相談や医療機関を受診していない隠れアルコール依存症者が100万人以上、アルコール関連医療費が1兆円を超えていると報告されています。

早期の発見から受診につなげるためのテストとして WHO の研究から作成された AUDIT が日本を含めた世界で多く使われています。

この AUDIT は1990年初めに作成されたものであるため、純アルコール換算量を自身で計算しなくてはなりません。(ビール中瓶は20gなど)

県民が簡単に取り組める県独自の分かりやすいスクリーニングテストを導入してはどうか? また、酒類の表示義務(缶製品)には、アルコール度数と成分は表示されていますが、純アルコール量の表示は義務化されていませんので、国に対して要望するべきだと思います。

私の質問から4日後、知事のブログでアルコール依存症対策のスクリーニングテスト KAST(カスト)導入が発表されました。市が進める健康づくりと連携し、早期の受診と相談につなげたいですね。

県産加工品、製造品の普及と販売の拡大

県内の高速道路サービスエリア(PA)では、県内の事業者が県内の事業所で加工・製造した商品や県産原材料を使用した商品「彩の国優良ブランド品」などの取り扱いが非常に少なく感じます。

埼玉のお土産を求める消費者や観光客に対して高速道路サービスエリア(PA)などで販売することから「埼玉土産」の周知と販売の拡大、郷土産業の振興を図るべきだと考えます。

他県のようにパッケージや包装紙への補助、県産木材を使った消費者への宣伝方法の取り組み。

また、県の品質基準をクリアした「ふるさと認証食品」については認知度を上げる工夫が必要です。

警察官の安全対策を強化すべき

6月と9月に警察官が交番や駐在所で刺殺される事件が発生しています。交番や駐在所は多様な相談窓口でもあり、ご家族も一緒に居住していますので、県内の交番250箇所、駐在所119ヶ所に通報システムと防犯カメラの設置を求めました。

予算委員会質疑でも取り上げた装備品として、警察官が身に付けている防刃ベストは全国40県で背中や脇腹まで刃物が防げる仕様が導入されていますので、本県でも装備を進めるべきだと思います。

請願18号 福島第一原発に溜まり続ける汚染水を海洋に放出しないよう国に求める請願
「環境農林委員会で趣旨採択を求める発言をおこないました」

福島第一原発敷地内のタンクに保管されている汚染水は通常 ALPS(多核種除去設備)で処理をしてからタンクに保管されています。東京電力は ALPS の不具合により、一部のタンクからストロンチウム90などが基準値の2万倍にあたる1リットル当たり60万ベクレルの濃度が検出されたと公表しました。

この量は浄化されたはずの汚染水89万トンのうち、約8割に相当する75万トンが基準を上回っていたこととなります。さらに、ALPS 処理後の汚染水の中にはトリチウム以外は含まれないとされてきましたが、ヨウ素やストロンチウムも基準値を超えていたことが公聴会直前に明らかになっています。

タンク保管の処理能力は1日最大1,500トン、汚染水は最大で毎年10万トンのペースで増える見通しであることから、保管場所も含めてタンクによる貯蔵もあと数年が限界とされています。

請願文には大型タンク保管が現実的な方法…とありますが、ALPS 処理後の汚染水を事故前の環境放出基準を遵守して海洋放出する場合、約40年程度の期間を要することから、タンクの耐久性や管理面から維持が難しいと考えられ、必ずしも現実的な方法だとは言いきれません。

福島県の漁業が回復しつつある中、漁業関係者も風評被害を恐れて慎重な姿勢を求めています。

以上の理由から趣旨採択での採決を求めました。

春の県議選・市議選の日程が決まる

埼玉県議会議員選挙 4月 7日(日)

鴻巣市議会議員選挙 4月21日(日)

第4回 県政報告会

2月16日(土) PM4:30～

会場 市民活動センター

皆様のご参加をお待ちしております



ポスター掲示 ご協力をお願い

現在、市内でポスター(左写真)の設置をおこなっています。

ご自宅のフェンスやブロック、駐車場、畑など、一時期場所をお貸し頂けないでしょうか?

設置は並木本人が伺いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

541-7777 並木まさとし事務所



プロフィール

昭和45年(1970年)9月鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回このす花火大会代表/鴻巣市消防団第2分団員(22年目)/鴻巣市議会議員2期/H27年4月埼玉県議会議員初当選/環境農林委員/公社事業対策特別委員/埼玉県地方薬事審議会委員/熊谷市上之地内における農地転用許可等調査特別委員/家族・妻・長女・長男・愛犬レオ